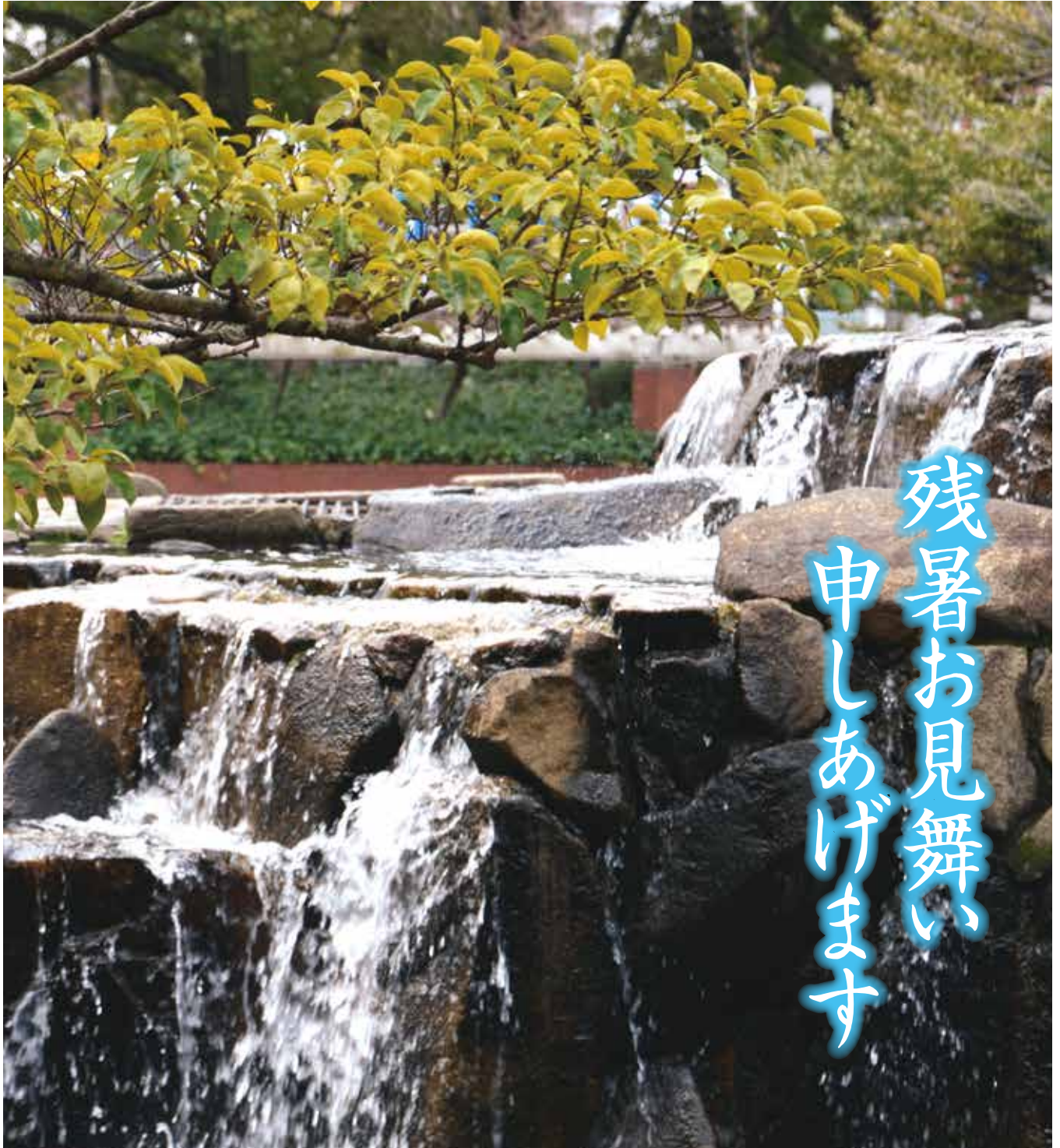


木材ジャーナル名古屋・世ぶ

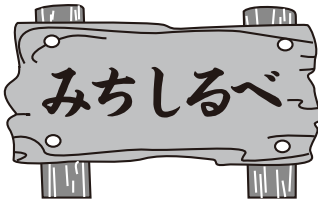
平成30年8月号 No.135

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合



残暑お見舞い、
申しあげます

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



コスト環境の厳しさの認識と 更なる人手不足への対応が急務

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

先の西日本豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

政府は、「2019年10月の消費税の10%への引上げを実現する」と明記した経済財政運営の基本方針を6月15日に閣議決定しました。他方、日銀が7月2日に発表した短観では、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、原油などの資源価格の上昇や人手不足に加え、米トランプ政権の保護主義的な通商政策による貿易摩擦を警戒し、2四半期連続での悪化となっています。私自身も、消費増税前までは多少の駆け込み需要もあり緩やかながらも堅調に推移すると予想していましたが、いまだ駆け込み需要の動きは表面化せず、需要が低迷しているのが実体です。

こうした中、昨年春先からの外材価格の上昇はおさまる気配はなく、現在も高値圏で推移しています。これは好調な米国の経済状況に加え、中国や欧州、開発途上国の旺盛な需要によるものです。かつての世界の外材市況は、日本が主導権（イニシアチブ）を握り、またその規模は米ドルと円の為替変動に影響を与えたほどでした。しかしながら現在は存在感が低下、中国やインドなどに取って代われ、日本の市況に関係なく価格は形成されています。私自身も6月にカナダの製材工場を視察した際も、現地の担当者の日本に向ける視線の変化に驚かされたほどでした。購買力が低下した現在の日本は、機会損失による更なる「日本離れ」を危惧し、たとえ高値でもその価格を受け入れざるを得ない状況に追い込まれていると言えます。

こうした外材市況の構造変化により今後も輸入資材を中心に価格は高止まり、更なる上昇も避けられない状況です。一方で2020年以降の更なる少子高齢化の進展で、新設住宅市場の縮小が余儀なくされ、需要が厳しい中で、輸入資材から国産材への転換を図ると共に、値上がりする資材価格、原油高を起因とする物流費や人件費の上昇のコスト高をどう転嫁するかが鍵となります。将来の成長に向けて、都市の木造化・木質化（非住宅木造建築物の木造化・木質化により住宅約25万棟分の新市場の創出が可能）を進めるにあたり、川上から川下全ての木材業界や産官学との連携を図らなければなりません。又中古住宅市場での新たなストックビジネスの構築も大きな成長分野となります。

更にもう1つの大きな課題が少子高齢化に伴う人手不足です。「働き方改革」と「人づくり改革」は、避けては通れない問題となっています。野村総研の調査では、技能労働者は高齢化に伴う離職者増と若年層の入職者減少で落ち込み、大工職は2010年の40万人から2030年には21万人へ半減するとの予測をしています。これは新設住宅着工数予測60万戸から見ても、建築現場の生産性の4割アップが必要との計算になります。業界の試すべき対応策は、AI（人工知能）やIoTなどを活用し、生産性・業務効率の向上を図るとともに、人手不足の解消に向け、大切な働き手の1つとして更なる法整備が整えられた上で、外国人労働者の受け入れを一層進めていかななくてはなりません。（現在249万人 家族含む）

組合としましても、これらの問題・課題を踏まえ、将来の業界全体の発展・成長の視点を持った取り組みがますます重要となってきます。更なる皆様の御協力の程お願い申し上げます。

◆ 合縁木縁 ◆

◆ 自遊ご異見番 ◆

「名商エコ女WG」

「2018年・夏」

私は昨年より名古屋商工会議所のワーキンググループ「名商Careor Women's Platform エコ女WG」(通称エコ女)に参加しています。今回は2期目にあたり、メンバーは様々な企業の環境分野で活躍している女性で構成されています。活動は2か月に1度で、SDGsの周知とメンバーのスキル・知識向上を目標に勉強会や視察会、イベントの企画実施を行っています。

最近の活動では6月にリーフウォーク稲沢で開催されたエコ博へ出展し、SDGsやエコ女活動の周知と子供たちが楽しみながら環境を学べるよう、間伐材を使ったエコお守り作りのワークショップを行いました。エコお守り作りは当社の「瓶に木を入れてとれなくする工作」をエコ博用にアレンジしたものです。更にアンケートを実施し、取り組みたいSDGs目標は?と質問したところ、SDGsなんて聞いたことがないという方がまだ沢山いることを知りました。新聞でもSDGsが取り上げられ、取り組んでいる企業があるにもかかわらず、知らない人が多いのはなぜでしょうか。私も以前、環境には興味があったものの、深い知識はほとんどなく、する事といえば、食べ残しをしない、ポイ捨てをしないという、親から言われてきたごく当たり前のことぐらいで、SDGsという言葉すら知りませんでした。エコ女に入り、エコプロ視察やセミナーなどに参加し、SDGsに取り組んでいる企業が沢山あり、日常生活の中でもSDGsは実践できる事も学びました。

人は関心がない物事には素通りしてしまいます。私たちが自由に電気・水・ガスなどを使い、毎日おいしいご飯が食べられることを当たり前と思ってしまい、今の状況に胡座をかいて何もしなければSDGsの目標は達成できません。

エコ女は平成29年5月より活動していますが来年3月で終わりを迎えます。残り少ない活動期間ですが、これからもSDGsをわかりやすく多くの人に理解し取り組んでいただけるよう発信し続けて行きます。

※SDGs (エスディー・ジーズ) とは

Sustainable Development Goalsの略。国連が掲げた持続可能な開発のためのグローバル目標で、人権問題や環境問題など、世界が一致して取り組み、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのことです。

今回は、(株)林経新聞社 橋爪 良和氏にお願いします。

暑いです。

50過ぎの男性としては、ただでさえ加齢臭で臭いと言われているのに、滝のような汗を流したら一体どんな臭いになるのか…考えたくもないし聞きたくもありません。

さて本題に。

埼玉県熊谷市で観測史上最高気温41.1度を記録し、「うながっぱ」でお馴染み多治見市も負けじと40.7度を記録した。この「うながっぱ」は2007年8月16日に同市が当時の国内最高気温41.1度を記録したことから「日本一暑い町」として観光誘致するため、秋頃に発表する予定を変更し急遽この日に発表したらしい。そういう経緯もあってか「うながっぱ」は毎年7月下旬～8月には街頭でうちわなどを配って、暑さ対策を呼び掛けているのだが、特に気温が上がると予想される日には急遽街頭に立つこともあるとのこと。

日頃の、文字通り汗水流した熱中症への予防を呼びかける活動のおかげか、日本気象協会から「熱中症予防PR大使」に任命されており、これからも炎天下でうちわを配り続けることになるのでしょうか。「うながっぱ」…ではなく着ぐるみの中の人の健康を心配せずにはられません。

ちなみに、「うながっぱ」のキャラクターデザインは「アンパンマン」のやなせたかし氏、やなせ氏作詞の「うながっぱパップソング」という歌もあるので興味のある方はYoutubeで見ることが出来ます。盆踊りバージョンもありますので、実行委員などの方が居ましたらこの夏の1曲にどうでしょうか。

暑いといえば高校野球もいろいろ言われています。地方大会は早朝や夕方涼しい時間にすれば良いとか、甲子園球場ではなくドーム球場に変更するべき等々。地方大会はともかく、甲子園球場に関しては高校野球を経験した人にしか分からない、聖地感やこだわりがあると思います。負けた時に持ち帰るのが砂ではなく、汗も涙も染み込んでない人工芝の切れ端じゃ全然嬉しくないでしょう。観戦する側も泥まみれのユニホーム、ギラギラした日差しの中でのプレーに感動するのだろうし、これがエアコンの効いた球場で、綺麗なユニホームのまま汗もかかずにプレーをしたら、今までの高校野球とは全く違うものになってしまうような気がします。

「暑さに負けない」ではなく「暑さをしのぎながら」今年も熱戦を期待します。

お知らせ

☆☆☆ 名古屋西部木材港開港 ☆☆☆

50周年を記念して植樹

名古屋西部木材港は、本年12月に開港50周年を迎えます。これを記念して名古屋港木材産業協同組合では、開港50年史の製作に取り掛かり、10月29日（月）午後5時半より名古屋駅前のキャッスルプラザで祝賀会を開催します。

また、6月11日には名古屋港富浜緑地にオオシマザクラ、ニレノキなどを植えたほか、笠木元理事長、鈴木前理事長、嶺木現理事長の3代お揃いでベイマツの苗木を植えられました。これらの樹が次の100周年には立派な樹木となっていることを祈念しております。



写真左から記念植樹をされた笠木元理事長、嶺木現理事長、鈴木前理事長。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

蟹江署管内で店舗等を狙った侵入盗被害が多発！！

7月中、蟹江警察署管内において、深夜に閉店後の店舗を狙う侵入盗被害が多発しました！侵入方法は出入口扉のガラス割り等です。泥棒が狙いを変えて、事務所荒らしを敢行する可能性もありますので、防犯対策をお願いします。

《防犯上の注意点》

- ・ 防犯カメラ、センサーライトの設置等、目に見える防犯対策をしましょう！
- ・ 無人でも室内灯を点灯させる等して、犯人に留守を悟られないようにしましょう！

◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、
人と住宅の未来のために
磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53
TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956
東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)
〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6
TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184
●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで

「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

<p>発行 名古屋木材組合 発行者 西垣洋一 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10 TEL <052> 331-9386 FAX <052> 322-3376 【編集】名古屋木材組合広報委員会</p>	<p>発行 名古屋港木材産業協同組合 発行者 嶺木昌行 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74 TEL <0567> 57-2017 FAX <0567> 57-2018 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会</p>
---	--